

戦争準備反対NO!! 日本政府に禁止条約の署名・批准を 5月20日(土) 和歌山市庁舎前集会・原水爆禁止国民平和大行進



和歌山市庁舎前集会



けやき通り平和行進



ぶらくり丁内平和大行進

5月20日(土)曇り。国民平和大行進は、和歌山市です。

市庁舎前には、100人近くが参加しています。平和大行進の出発集会は和歌山地区労の祐伯浩一さんの進行です。県平和行進実行委員会の茂野和宏実行委員長は主催者挨拶の中で「岸田首相は核兵器のない世界を口にしてしています。しかし、口とは裏腹に、岸田政権は核兵器の廃絶とは真逆の核抑止強化の動きを強めています」と批判します。次いで、和歌山市実行委員長の楠見耕助さんは「(漫画家)中沢さんののがい経験は、『はだしのゲン』に描かれていて、多くの子どもたちの心を動かしてきました」と広島市教委が『はだしのゲン』を学習教材から外した事を批判する挨拶をしました。南畑幸代和歌山市議会議員からは「岸田内閣は敵基地攻撃を保有する事を進めています。平和を守る事、頑張っ世界の人と手をつなぐ運動がもっとも重要な時期に来ています」との連帯挨拶。そして、わかやま市民生協の決意表明です。市民生協から20人が集会参加しています。最後に、民医労中嶋一雄さんが和歌山市集会アピールの読み上げます。

国民平和大行進の横断幕を、県実行委員会の茂野さん、市実行委員会の楠見さん、市民生協の宮本さんが持ち、平和行進が出発します。市庁舎前よりけやき通りを東進、坊主丁交差点を左折し、大新公園の横を通り、東ぶらくり丁からアーケード内を行進し、京橋プロムナード迄歩きます。平和行進に募金を寄せていただきました。感謝です。ぶらくり丁の中では、県平和委員会の松本弘子さんがハンドマイクを使い、アピールしました。宣伝カー運行は、市民生協労組・川瀬順文さんに運行いただきました。

5月22日(月)の平和行進は由良町です。 県原水協事務局